



令和4年度 消費者啓発に取り組む 小売・外食事業者、地方自治体の 取り組み事例集（東海地域版）

農林水産省

東海農政局
食品企業課

目次

【小売・外食事業者（五十音順）】

旨し質よし にくよし -----	1
株式会社あいち食研 -----	2
株式会社アオキスーパー -----	3
株式会社ぎゅーとら -----	4
株式会社サンヨネ -----	5
株式会社中京クッキング -----	6
株式会社ドミー -----	7
株式会社とよはた -----	8
スーパーサンシ株式会社 -----	9
生活協同組合コープあいち -----	10
生活協同組合コープみえ -----	11
トヨタ生活協同組合 -----	12

【地方自治体（建制順）】

岐阜県 -----	13
愛知県 -----	14
三重県 -----	15
可児市 -----	16
豊橋市 -----	17
犬山市 -----	18
北名古屋市 -----	19
四日市市 -----	20



＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 農林水産省の食品ロス削減ポスターの掲示
- 冷蔵・冷凍全オープンケースにロス削減のポップ掲示
- 賞味期限の短い商品を割引販売してロス削減に努めています。

＜お客様/従業員の反応＞

- 従業員から「賞味期限間近の商品を割引販売していたがそれが食品ロス削減に繋がっていると改めて意識した」との意見が聞けました。
- 食品ロス削減啓発ポスターを掲示する事で従業員の意識が向上しました。また、お客様の中で「てまえどり」に賛同頂ける方も見られるようになりました。

【お問い合わせ先】

旨し質よし にくよし(0568-29-7024)



＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- ポスター掲示・お客様へのNO-FOODLOSS PROJECTの周知
- 規格外の芽蓮根やキズ物の蓮根などを農家さんから直接買取り、レンコンチップにて提供
- 規格外の割れトマトや変形トマトなどを農家さんから直接買取り、トマトソースにして提供

＜お客様/従業員の反応＞

- 食べることで地球環境のためになるのはありがたいです。
- 味はなんにも変わらないのに少しでも規格から外れただけで廃棄になってしまう現状を知りました。自分の行動を見直すきっかけになりそうです。



＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 消費者庁、農林水産省、環境省が推進する食品ロス削減の取り組みとして令和3年度から継続して「てまえどり」を実施
- 店頭及び商品棚等に啓発物（ポスター・POP）を掲示し、お買い物をされる方へ周知
(内容：ホームページ掲載 <https://www.aokisuper.co.jp/>)



《店舗で行っている食品ロス削減の取り組み》

- 各店舗で農林水産省10月食品ロス削減月間のポスターを掲示
- 見切り品の売り場に「買わないなんてもったいない」POPを掲示
- 三重県スマートアクション宣言に参加。売り場に「てまえ取り」ルールPOPを掲示



《お客様 / 従業員の反応》

- 10月度に食品ロスの削減についてポスターやPOPの掲示をすることで、お客様だけでなく、従業員にも食品ロスの削減について取り組んでいただく機会ができました。
- 国や県から提供いただいたポスターやPOPを貼ることにより、見切り品を購入していただきやすい環境を作ることができました。
- すぐ食べる食品は消費・賞味期限の近いものを意識的に購入することで、家庭でも食品の消費・賞味期限を意識するようになりました。

【お問い合わせ先】

ぎゅうとら本社 総務部 (0596-37-5500)



＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 各店店舗掲示板にて、「てまえどり」の啓発ポスターを掲示し、お客様に呼びかけています。
- 果物売り場にて、食べ頃の果物をカットしてお値頃価格で販売しています。

＜お客様/従業員の反応＞

- 「てまえどり」のポスターを掲示することで、棚の奥から商品を取って行かれるお客様への「前から取っていこう！」との啓発に繋がっている。
- 食べ頃の果物をカットしてお値頃価格で販売することで、商品を廃棄すること無く、売り切りに繋がっている。
また、「食べ頃」の果物ということで、お客様も家庭で即食べられることができ、家庭でのロス削減にも繋がっている。

株式会社中京クッキング（東海農政局食堂）



注文窓口にポスター掲示



テレビサイドの見やすい壁面、入り口にポスター掲示



＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 自社作成ポスター『「食べきること」も食品ロス削減の取組です』により食べきれるご飯の量の呼びかけ
- 農林水産省作成ポスターの掲示（なくそう食品ロス・食べきること地球に手助け）
- 食品ロス削減月間ポスター、食品ロス削減啓発ポスターを掲示
- 東海農政局作成の三角柱を各テーブルに設置
- 名古屋市の食べ残しゼロ協力店ポスターの継続提示

＜お客様/従業員の反応＞

- 量を調整することで無理なく食べることができ、食べ残しが無くなった
- 小食の方に好評で、月間のみでなく通年実施



三角柱の設置



＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 「てまえどり」POPを各売場に掲示
- 見切りコーナーにてろすのんを用いた「なくそう食品ロス」POPを掲示

＜お客様/従業員の反応＞

- お客様の食品ロス削減への意識が向上することを期待したい。
- 従業員の適正な発注への意識が向上しました。



生鮮市場
ベリー

株式会社とよはた



食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT



＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 各店舗掲示板にて、「てまえどり」の啓蒙ポスターを更新し掲示しました。
- 各店舗の売り場に、「もったいないコーナー」を設置し、期限の近い商品の購入アピールを実施しました。
- 統一ルールPOPを各売場に多数掲示し、お客様への啓蒙を継続しています。

＜お客様/従業員の反応＞

- SDGsの啓蒙活動の高まりもあり、食品ロス削減に向けて取り組みで廃棄ロスの削減につながってきています。
- 従業員の、日付管理意識と陳列の工夫、改善意識が一層高まって来ています。
- 「見切り品」という概念から、「もったいない品」「すぐ食べるならお値打ちの品」などのネーミングで啓蒙しています。

【お問い合わせ先】

株式会社とよはた 生鮮市場ベリー (0596-21-1234)



＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 「てまえどり」のレールPOPを日配品売り場へ掲示し、お客様に食品ロス削減を意識した買い物方法をご案内
- 10月食品ロス削減月間ポスターを店舗入口付近に掲示し、食品ロス削減月間であることをお客様へご案内

＜お客様/従業員の反応＞

- SDGsの啓発活動の高まりもあり、食品ロス削減に向けての意識向上につながってきている
- 手前から商品を購入していただけるお客様が増え、食品ロスが減ることを期待したい



自動発注確定までの流れ

【2締：13:00の例】

	①夜間 処理	②繰越数 確認・修正	③自動発注 データ作成	④発注数 最終確認	⑤発注締め
時間帯	~9:00	9:00~12:00 (③開始まで)	12:00~12:20頃 (各発注締めの 1時間前)	~13:00 (⑤開始まで)	2締:13:00~
売場維持の ための発注 (自動発注)	繰越数計算	EOBで確認	自動発注数計算	EOBで確認	発注数の確定

＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 「てまえどり」ポスターの積極的掲示により、組合員のみなさんと一緒に取り組みを進めています。
- 生鮮野菜ではこの間 1 人用小分け商品などの取り組みも継続しています。
- コープ商品では入荷期限延長を既に導入済み、その他商品についても検討中

＜自動発注システム導入による在庫適正化＞

- 自動発注システム導入により、在庫の適正化を図り、在庫ロスを削減します。

＜組合員のみなさんからの声＞

- 環境問題に関心の高い組合員さんも多く、「生協がこういう取り組みをしてくれるのがうれしい」との声が寄せられています。



店舗からのLINE配信時にエシカル消費を呼びかけるリッチメッセージを配信しています。

＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- てまえどりの呼びかけ
- エシカル消費の呼びかけ
- 少量目商品の製造
- 予約の取り組み強化
- 値引き基準の変更

＜お客様/従業員の反応＞

- 少量目サイズがあると食べられてありがたい
- 値引きシールの商品を買うのは気が引けたが、堂々と買えるようになった
- フードロスについて自分が出来る事を考えるようになった

◆◆「食品ロス」削減にご協力を！！◆◆

すぐに食べるものは
手前から取ってね！

商品棚の手前に並んでいる値引商品や
賞味期限の近い商品をとる「てまえどり」を
することで食品ロスの削減につながります。



「てまえどり運動」を推進しています

～トヨタ生活協同組合 豊田市環境部協賛型社会貢献隊～



てまえどり啓発活動



フードドライブ会場(本店)

＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

→てまえどりの呼びかけとフードドライブの実施

- ・選定した店舗にててまえどり啓発チラシの配布と呼びかけを実施(10/22～23)
- ・宅配、店舗によるフードドライブ実施(10/22～23 前年より店舗数拡大6店→12店)

＜お客様/従業員の反応＞

→てまえどりやフードドライブの言葉の意味をご存じないお客様に説明し、活動を理解いただける機会となった

- ・取組み内容に対しお客様からお褒めの言葉をいただいた
- ・フードドライブは寄付人数、寄付食品量ともに増加（寄付人数、寄付点数ともに前比約2倍）

[お問い合わせ先]

総務人事部 総務・広報・組S室 諸岡 (0565-28-5011)